

イノッチのシェアリングネイチャー NO152-94 2021.4.4

〈見ているのに見えてない！〉

毎月第1日曜日はあきる野にある“横沢入り”の自然観察会の日。雨予報だったがなんとか降らずに持ちこたえた。毎回いろんな発見があつてとっても楽しい観察会、いつもワクワクしながら参加している。今回の収穫は、何と言ってもアオキの雌雄株の見分け方を知ったこと。アオキそのものは知っていたし、あの赤い実はそれこそ目立ちすぎるほど目立つ。山に行けばどこにでも生えている木だ。ところが、今までそのアオキが雌雄異株であることを知らなかった。株が違うので花も違うのだがその違いが分からなかった。



「ほら、全然違うでしょ、見ればすぐ分かるわよ」と、詳しいKさんが教えてくれるのだが、見ても分からない。「えっ、どこが違うの?」「ほら、雌花は中心に1つ、雄花は4つ点があるでしょ」。なるほど、見ればすぐ分かるのだ。周りの茶色っぽいガクにばかりに目がいき、中心部を見ていなかった。虫メガネレベルでの判別なら言い訳もできるがこんなに大きくハッキリ見えるのに違いが分からなかった。“どこに目えつけてやんで”とどなられそうだが、実際その通りだった。今日また己の浅はかさを知ることとなったが、それは恥でもなんでもなく、新しい扉を開ける鍵を手に入れたようで心地よかった。